

法話 名告り

蓮谷 啓介 師
大分県大分市妙蓮寺住職

阿弥陀さまの

お名前の由来とは

私の住む大分県には沢山の温泉があります。そこで、県が観光PRの為「おんせん県」を名のり、商標登録を試みました。しかし、温泉なら他県にもあるという理由で許可が下りず、今では「おんせん県おおいだ」としてやっと登録がなっています。

ところで、私たちのご本尊である阿弥陀とは、命と光に限りが無いというお名前です。古代インド語で書かれた経典のアミタは無量と訳され、アミターユスは無量寿、アミターバは無量光と訳されました。そこに「南無」と「仏」をつけて直訳すれば「まかせよ、無量の命と光の仏に」となります。しかし、実は数多におられる仏さまは皆、無量の命と光のおさとりをお持ちなのです。では、なぜ阿弥陀さまだけがご自身のお名前とすることができたのでしょうか。

それは、言うなれば無量の命と光はご自身の為ではなく、全ては私たち一人ひとりを必ず救う為という大きな違いがあったからです。親鸞聖人はご和讃に「撰せん取とりして捨てざれば阿弥陀となづけられたまつる」と示され、その左横に小さな文字で「撰はもの逃ぐるを追はへ取るなり」「ひとたびとりて永く捨てぬなり」と教えてくださいました。阿弥陀さまとはお救いに背き続け、逃げ続ける私をどこまでも追いかけて抱き取ってくださいる仏さまであり、一度抱き取ればいつまでもその手を離さず、捨てられることは決してない仏様ですと慶ばれる縁えんによって変わる。

私たちの心

あるご門徒さんが、奥様に先立たれ満中陰(四十九日)を迎えられた時のことでした。お仏壇の前で「この頃いつもここにいますよ」と自分の座っている座布団を指されました。所帯を持ち、家を建てる際に両親から仏壇を勧められたが「そんなもの必要ない」と断った。でも仏壇を迎えれば建築費を援助すると言うので仕方なく求めた仏壇で

す。しかし、「…その私が今ここを離れられないんです」と少し恥ずかしそうにして涙ぐまれるのでした。

私たちの心は縁によって変わります。ことに大切な人や自身の死を前にした時、強かったはずの心はいとも簡単に崩れていきます。その時のどうしようもない痛みはいつだって今ここにいる私の問題です。誰にも代わってもらえずとも、分かってもらえること、もかないません。そうして、人知れず涙する私をどうしても放っておけないと涙して立ち上がり、無量の命となってまでいつでも(今)、無量の光となってまでどこでも(ここ)、まかせておくれ、必ず救うとご一緒くださる唯一無二の仏さまが阿弥陀さまであったのです。阿弥陀さまにもお浄土にも背を向けていたその時から、ずっと私の為に「南無阿弥陀仏」と名告り続けてくださったのでした。

さて、「おんせん県おおいだ」という不本意の登録名。知事は「この方が、地域が特定される」と前向きです。観光客が大分を目指して来てくれることを期待してのこと

です。しかし、いつでもどこでも誰にでも来てくださる阿弥陀さまには、地域を特定する名前は無用であったのですね。

築地本願寺新報

令和2年7月号掲載

おこもりギャラリー

坊守が折った折り紙

サギソウ



アジサイ

例年より発行が遅れた事をお詫びいたします。
 新型コロナウイルスの状況を見極めようとしていたら、悪い方に変化してきて、確実な対応策が打てずにいます。ある程度対応策が出来たら寺報で発表しようと思いましたが、寺報の発行が遅れるだけでした。

新型コロナウイルス 対応策について

昨年末の年間予定をたてていたときには、まさかこんなことになるとは思ってもありませんでした。
 長い自粛生活と新しい生活規範は、この小さな寺院も大きな影響を受けています。

日常の対策

アルコールを用いて手指の消毒 手を触れる場所を拭き取り消毒(次亜塩素酸水使用) マスク着用

僧侶は、読経時にはマスクを外します。皆様の方を向いてお話をするときには、十分な距離を取ります。
 堂内では、距離を取って椅子におかけ下さい。
 (日常、一緒に生活してい

る方とは特に離れないでかまいません。)

お墓で 水場周辺で密になりやすくなります。順番に水道をお使い下さい。
 手桶・ひしゃく等は、あらかじめ次亜塩素酸水で滅菌しておきますが、スプレーを常置します。スプレーを常置して、気になる方は、スプレーをかけて拭いて下さい。

孟蘭盆会法要のご案内

今年度はコロナウイルスの対策として、墓参・参拝の分散を目指して、お盆の期間を2回設定します。
 第一部を、東京の七月のお盆の時期とし、第二部を八月の旧盆の期間とします。両方で孟蘭盆会法要を行いますので、都合のよろしい方でお参り下さい。
 また、土曜・日曜は、集中しやすく、さらに十一時前後・午後一時前後に混雑しやすいです。朝は、九時には皆様をお迎えする準備が整っています。
 分散化にご協力下さい。

記

孟蘭盆会法要

第一回

7月12日(日)午後2時より
 第二回

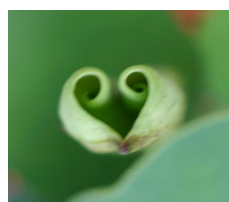
8月15日(土)午後2時より
 お盆の期間
 7月8月ともに
 13日～16日

教誓寺門信徒皆様の法要です。昨年のお盆以降から今年のお盆までにお亡くなりになった方々の「新盆」法要を併せてお勤め致します。

お寺としましては、皆様にお出かけ頂きたく存じますが、健康第一ですので、少しでも不安要素があれば、お参りを延期して下さい。また、ご連絡をいただければ、仏花とお線香をお供えして、それぞれの墓のお参りを致します。
 お花などの実費とお布施をお願い致します。

○教誓寺維持会費について
 本年度も維持会費ご納入下さり有り難うございます。皆様のご納入は順調ですが、残念ながら住所が不明になったりして、しばらく

連絡が取れなくなっている方も少数ながら御座います。転居なさるときには、お寺へもご一報下さるようお願い致します。
 これからご納入下さる方も、宜しくお願い致します。
教誓寺の蓮



今年のハートです

20年位前にいただいて、鉢に移してからは、花を見ることが出来ませんでした。今年も3月に植え替えをして、いつものハートも見られるようになり、花が咲くのが楽しみです。



浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
 108-0073
 東京都港区三田 一十一
 〇三(三四五)二三九
 kouseiji@is4.so-net.ne.jp